

総合演習

授業案フォーマット

授業タイトル : みんなちがってみんないい

子供の設定 :

●地域の特徴

座間市のキャンプ座間や厚木基地に近いこともあり、外国人をよく見かける。また、町田市には大学がたくさんあり、留学生も多く、外国人は見慣れている。しかし、マスメディアで外国人が起こす犯罪がとり立たされているため外国人に町で声をかけられても立ち止まらないなど偏見があるように思われる。つい先日外国人による発砲事件が学校の近くで起き、集団下校をすることになった。

●学年

町田の公立小学校の第5学年

●子供達の構成

- ・公立小学校で男15人、女15人
- ・第5学年ということもあり、男女で分かれて行動することが増えてきている。
- ・また、韓国とブラジルの国籍を持っている児童が2人いる。韓国国籍の児童は、生まれが日本のため日本語は堪能。ブラジル国籍の児童は、まだ日本に来て2年なので聞きとることはできるが、話すことはほとんどできない。
- ・クラスのみならず韓国人の児童とは積極的に話をするが、ブラジル人の児童とは距離を置いている。実際に休み時間などに韓国人の児童を誘う場面は多く見られるが、ブラジル人の児童は誘われることが少なく、一人でいることが多くみられる。

教師の問題意識 :

ブラジル人の児童はうまくクラスに馴染めていない。理由としてあげられるのは、肌の色の違いや不慣れた日本語が原因であると考えられる。休み時間でも1人であることが多い。最近では、陰で悪口を言うなどエスカレートしてきて、机に落書きされていたり、持ち物がなくなるなどいじめの前兆が見られる。

教師としては、“世界には色々な人がいて、それぞれの考えを持っている”こと、だから“クラスにも色々な人がいて、それぞれ個性を持っている”ということに気付いてほしい。

また、人種差別など肌の色や目の色などの外見で人を判断しない人間になってほしい。そして、クラスの中でも差別なく、仲良く過ごすことのできる児童を育てたい。

授業目的 :

- ・世界にはさまざまな人種や民族、文化があるということを理解できる。
- ・友達を大切にする。
- ・1人ひとりがクラスの一員であることを理解する。

子供達の到達目標 : (目に見える具体的なものにします)

- ・自分から今まで接していなかった友人や性別、人種、民族、文化に関係なく積極的に話しかけている。
- ・友達の良いところを見つけることができる。
- ・色々な出来事をその人の立場から見て説明することができる。
- ・色々な人とためらわずにグループを作ることができる。

授業計画：授業目的を達成するために必要な授業数と各授業の概要
 (達成目標をクリアするのに必要なだけの授業を計画します)

授業回数	テーマ	各授業での子供達の具体的な達成目標
1	TAPをする。 「ZIP ゲーム・人間知恵の輪・フラフープリレー」	●自分から今まで接していなかった友人や人種、男女関係なく積極的に話しかけている。
2	話し合い 「いいところ見つけ」	●友達の良いところを見つけて発表することができる。
3	TAPをする。(差別ゲーム)	●差別された側にたって、嫌だなと思うときの気持ちを少しでも表現できる。
4	話し合い 「差別されて」	●差別された側の気持ちを理解し、日常生活においてクラスの人全員に平等に接している。
5	まとめ 絵本の読み聞かせ。「せかいのひとびと」	●教師の周りに集まるときに、「こっちおいで」など普段一緒にいない友達に声かけすることができる。 ●友達の長所・短所を理解し、色々な友達とグループを作ったり、勉強したり、遊ぶことができる。

本時の授業：上記の表の_5_回目の授業(模擬授業は上記の授業計画の中の1つの授業をします)

本時の授業でのポイントや指導上の注意点：

- ・絵本を読んでいく中で、世界にはたくさんの方がいて、その違いを丁寧に説明していき、「違っていることはいいんだ」ということを理解させる。
- ・絵本を読んでいる最中、児童間の距離が近くなるが、その際ちょっとした配慮をだしたり相手の嫌がることをしていないか見ておく。
- ・絵本は日本語のため、ブラジル人児童には理解しづらいのでTTの先生についてもらう。
- ・隣のクラスは授業をしているのであまり騒がしくならないようにする。

☆仲間はずれゲーム(第3回目の授業)

設定：4色(赤・青・緑・白)の色のシールを教師が児童に振り分け、おでこに貼らせる。この時、白のシールは3人だけという少数グループにする。そして、赤・青・緑のグループに一人ずつ白グループの人をまぜる。

内容：赤・青・緑の3チームで三つ巴ゲームをする。赤は青を、青は緑を、緑は赤を追いかける鬼ごっこ。つかまるとそれぞれのチームの陣地に連れていかれる。設定時間(10分程度)以内に陣地に入った人数の多いチームが勝ち。しかし、白チームの3人はつかまっても陣地には入れられない。→つかまえようとしなないと思われる。

授業方法：なぜ、その授業方法/教材、etc.を選んだのか?

- ① 絵本「せかいのひとびと」を読み聞かせする。
- ② 世界にはたくさんの方がいて遊び・食べ物・服・家・見た目などが異なっていることを紹介する。
- ③ クラスにも「違い」があることを理解させ、話し合いを通してみんなそれぞれ良いところがあることを理解させ、普段から男女・人種関係なく話すことができるようにする。

この絵本は、世界には様々な人がいるのだから、このクラスの中にも多様な人がいて当たり前なこと、またそれぞれみんな良いところを持っているということを学ぶのに適した教材である。

本時の授業：

流れ	教師の指示内容	教師の動きなど	時間
導入	<p>これから、総合の授業をはじめます。</p> <p>今日は机を後ろに寄せて、先生の周りに集まってください。</p> <p>今月は「みんなちがってみんないい」がテーマでしたね。先週は、仲間はずれゲームをして仲間はずれにされる側の気持ちを考えられたと思います。</p> <p>この間、白チームの人は仲間はずれにされてどういう風を感じたんだっけ？</p> <p>自分と違っていているというだけでよその人たちを嫌うのっておかしいよね。よその人たちから見れば自分たちだって違っていているんだよね。</p> <p>このクラスのお友達は 30 人ですね。じゃあ、この学校には何人のお友達が通っているでしょうか？540 人です。</p> <p>この学校だけで 540 人いるってことは、このみんなが住んでいる地球にはどれだけの人が住んでいると思いますか？67 億人以上の人が住んでいます。日本の人口は人 1 億 2771 万人です。ということは、世界には日本の 60 倍もの人が住んでいます。</p> <p>今日は、最後の時間になります。そこで、こんな本を持ってきました！</p> <p>では、先生が読むのでよく聞いていてください。</p>	<p>・絵本は隠しておく</p> <p>・世界の人口と日本の人口の数字は、紙に書いて用意しておく。</p> <p>・本の内容は事前に調べておく。</p>	10 分
展開	<p>p 5</p> <p>この 1 時間後には 9000 人も人口が増えているんだって。9000 人ってこれだけの人数が 1 時間に増えたってということだよ。</p> <p>p 6～13 読み聞かせ</p> <p>p 13 バイクの写真</p> <p>p 14</p> <p>この遊び知っている人？？ロデオって聞いたことない？これは、暴れ馬に乗った人が 8 秒以上振り落とされないで乗っていられたら合格になるんだよ。</p> <p>これは、棒投げっていう遊びで大きな丸太を持ち上げて遠くに飛ばすことを競う遊びです。ところで、ここに写っている人は男の人と女の人どっちだと思う？？</p> <p>スコットランドでは、スコッチキルトとうスカート状の民族衣装を男の人が着るんだよ。日本でいう着物と一緒にだね。</p> <p>この遊びの中に、みんなが遊んでいるような遊びはあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あやとり ・碁 ・けんだま <p>アフリカでも、みんなと同じようにあやとりをしていて、中国では日本と同じように碁をやっているね。日本だけの遊びではないんだね。</p> <p>p 16、17 省略</p> <p>P18 テニスの写真</p> <p>同じことで笑うひともいれば、なくひともいる。</p> <p>ドッジボールをやった時みんなはどう思う？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝った人は嬉しいけど、負けた人は悔しい。 <p>そうだね。同じドッジボールをしたのに、感じ方がみんな違うんだね。</p> <p>音をたてるのが好きな人がいれば、うるさいのが嫌いな人もいる。</p> <p>だから、相手の気持ちを考えることも大切だよ。</p>	<p>・資料を用意しておく</p> <p>・興味をもっていない児童には、本の内容を質問する。</p> <p>・遊びの部分をいくつかコピーし、遊び方を説明する。その際、名前や国名は書いておかない。</p>	25 分

	<p>p38～39 と p40～p41</p> <p>この2つの町を比べて、みんなどっちが楽しいと思う？</p> <p>どっちに住みたいかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こっちの町に住みたい <p>なんで、そう思ったの??</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラフルだから ・楽しそうだから 		
まとめ	<p>世界には色々な人がいるよね。遊びも違うし、家も服も、見た目も違ってたよね。</p> <p>このお話を聞いて、みんなはどう思いましたか？</p> <p>次に差別ゲームを通してどう思いましたか？</p> <p>さっきも言ったように世界には 60 億人の人がいるんだよ。その中で、この 30 人が偶然同じクラスで出会えたことってすごいことだよ。折角、同じクラスになったのにみんなのことを知らないなんて勿体ないよね</p> <p>この3回の授業で今まで話したことのなかった子と話せたり、絵本を見てみんなそれぞれ違ってそれぞれの良さを持っていることに気付いたと思います。</p> <p>今日のテーマって何だったっけ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな違ってみんないい。 <p>そうだね。</p> <p>今までの学習を通してわかったように、みんな違うことって素敵なんだね。</p>	・感想は、2～3人に聞く。	10分

評価： 子供達の達成目標が達成できたかどうか、何を判断基準にするか？
何をもって、この授業の評価にするか？

短期的な基準： ・男女・人種関係なく、少しでも相手のことを理解し、話しかけようとしているか。
・相手の嫌がることをやめ、悪口などを言わなくなる。

長期的な基準： ・今まで一緒に接していなかった友だちと一緒にいる姿が見られるようになる。

男女・人種関係なくクラスメイトと話したり、遊んだりする姿が見られるようになる。

人口データ「総務省・政策統括官（統計基準担当）・統計研修所」
<http://www.stat.go.jp/data/sekai/02.htm#h2-01>

「せかいのひとびと」作・絵： ピーター・スピア訳： 松川 真弓 出版社： 評論社